

◎組合同盟闘争記念歌 (お玉承節)

(一) 戦いの一年の鐘を
 全戦線に響かせる
 権取の鉄鎧を打ち破りて
 前衛に又前進
 うちふる吾血をなまぐさく
 輝きたる同盟旗
 (二) 正義のたもとに今は
 義憤の胸を高く鳴りて
 自由を奪ひ返さんと
 敵をくだくおすらの
 力に闘争し
 立てるは我等同盟旗
 (三) あゝ同盟の闘争は
 金太刀を共に生かす
 者にあはる闘争の聲
 見よ工場に鐘を
 金太刀をなみなひくよ
 これを我等の同盟旗

闘争を敷衍せんことを我等の方針として今日に至つてある。今日
 の急務は我等の同盟旗を高く燃やるが如き戰鬥的意志と致す
 如き信念とを以てこの苦難を克服することである。
 三 更に支配階級の聲圧に抗する我が厚層階級運動の陣営は依然然と
 其の狀態にあり、支配階級の分裂政策と之に合流する諸種の談話の
 運動方針は稍もすれはかゝる分裂状態を合流化し恒久化せしめんとし
 つゝある、かゝる傾向は最も露骨に労働大衆の利益を裏切り、今や
 大衆は自分の方によつて、これが克服を遂行せんとしつゝある、大衆の
 利害を背景とする我が同盟は、これが大衆自身の統一への要望に即し、この
 大衆の圧力を支配階級の暴圧に抗する一丸の勢力となし、闘争の
 統一を獲得せんとする。
 我大衆よ、資本の暴圧に統一戦線を以てあられ—
 全政党内余労働組合は一切の行方かゝりを捨て、即時合同へ—
 萬國の労働者よ團結せよ—
 昭和三年 四月十五日
 日本労働組合同盟
 第二回全国大會